

(5月27日時点)

## 令和8年人里出没抑制等のためのヒグマ春期管理捕獲事業(北海道)

事業概要	北海道が 北海道ヒグマ管理計画(第2期)に基づき、2023年(令和5年)2月に開始したヒグマの捕獲制度。【補助率】3/4(令和8年度～)			
	市町村が捕獲許可を北海道に申請し、生活圏から概ね10km以内の山野を含む人里隣接区域で、残雪期にヒグマの捕獲を行うことで、ヒグマに対して人への警戒心をもたせるとともに、ヒグマ対策に必要な人材を育成し、地域の危機管理体制の充実を図る。			
実施概要 (昨年実績)	捕獲許可期間	令和8年3月1日から5月31日 (令和7年3月1日から5月31日)		
	実施区域	釧路地区	阿寒地区	音別地区
	実施期間	令和8年3月中旬から5月末 (令和7年3月中旬から5月末)		
	実施時間	6:00~10:00(3~4時間) (変更なし)	9:30~12:00(約3時間) (変更なし)	早朝、夕方 (変更なし)
	出動回数	3月3回、4・5月12回、計15回 (13回)	3月3回、4・5月7回、計10回 (10回)	3月2回、4・5月12回、計14回 ※5月28日に実施予定 (15回)
	出動場所	桜田、北斗、美濃、山花、新野、駒牧、 鶴丘、音羽、青山	西徹別、布伏内、知茶布、上舌辛 阿寒湖温泉	霧里、茶安別
	(昨年内訳)	(13回)	(布伏内5回、阿寒湖温泉5回)	(霧里8回、茶安別7回)
	従事者数	熟練者15名、経験の浅い捕獲者15名 (昨年のべ人数) (熟練者13名、経験の浅い捕獲者13名)	熟練者10名、経験の浅い捕獲者10名 (熟練者10名、経験の浅い捕獲者10名)	熟練者35名、経験の浅い捕獲者21名 (熟練者38名、経験の浅い捕獲者22名)
	実施方法	実施場所(エゾシカライトセンサスルート等)を決めて、主に車両で移動してヒグマの痕跡及び個体を検索する  車両では入れない場所、ヒグマの追跡は徒歩  (事前に活動ルート(エゾシカライトセンサスルート、青山林道、旧鶴居軌道)を決めて、主に車両で移動してヒグマの痕跡及び個体を検索する)	実施場所を決めて、主に車両で移動してヒグマの痕跡及び個体を検索する  (変更なし)	事前に活動ルートを決めて、主に車両で移動してヒグマの痕跡及び個体を検索する  車両では入れない場所、ヒグマの追跡は徒歩  (変更なし)
捕獲・目撃	捕獲・目撃なし  (参考:昨年実績) (令和7年4月30日に足跡、糞、冬眠穴の目撃あり)	4月19日 知茶布 足跡確認  (目撃なし)	4月26日 茶安別 ファン確認 4月27日 霧里 ファン確認 5月25日 茶安別 ヒグマ1頭捕獲  (令和7年4月27日に足跡(成獣)、糞の目撃あり)	